

富士FJ1600選手権シリーズ 第3戦参戦報告書



岩倉 弘明

先日出場致しました富士FJ1600選手権レース第3戦の結果を下記の通りご報告させていただきます。



レース名:

JAF富士FJ1600選手権シリーズ第3戦

開催日時:

2005年8月6日(土)

開催サーキット:

富士スピードウェイ(静岡県)

ゼッケンNo.

72番

エントリー名:

NATS・IDI・オスカーFJ1600

エンタラント名

ニホン・オートモービルカレッジ

レースレポート

予選:

全17中 13位(1分55秒852)

マシンの調子が良く集団の先頭に立つ事が出来、後ろから追いつけてくるマシンと競り合いながらタイムを伸ばして行ければと思っていたのですが他車との位置取りに失敗してしまい18台中13位と低迷してしまいました。

まだまだ、経験が足りていない事を痛感致しました。

しかし、同じ失敗を二度と繰り返さぬよう心に誓い、気持ちを切り替える事に致しました。

決勝:

全17台中 3位

決勝までは5時間程のインターバルがあるので、気持ちを入れ替え、

「今回のレースがターニングポイントになる、駄目ならプロになるのは絶対無理！！」

と自分に言い聞かせ、決勝レースに挑みました。

得意のスタートで3台のマシンを抜き去り、第1コーナーへ飛び込みます！！

他のマシンはフォーメーションラップでタイヤの暖め方が不十分である事が分かっていたので、コーナーを高いスピードでは曲がり切れないと考え内側にポジショニングした所、予想通り多くのマシンが外側に膨らんで行く中、内側を鋭く切り込んで行き5番手まで順位を上げる事が出来ました。

12週のレースの中、激しくポジション争いをし、前回3位のマシンと激しく競り合いを演じ、時にはタイヤ同士を接触させる程熾烈な争いを演じ、最終的には抜き去り6位でチェッカーフラッグを受けました！！

残念ながらトップの3台は異次元の速さで着いて行く事すら出来ませんでした。4・5位のマシンとは充分手が届く位置まで進めたと思います(前述の前回3位のマシンと激しく競り合い過ぎタイムロスをしてしまったので、次回からは一瞬で抜き去りたいと思います)。レースが終わり、素晴らしいマシンを仕上げてくれたメカニックと健闘を讃えておりました。

しかし、通常1時間程度で終了する車検が、2時間を経過しても終了せず正式結果で出てきません。

なんと、上位3位を独占していたチームがエンジンに不正な改造を行っていたとの事で失格との裁定が下りました。

異次元の速さの理由はそこにあったかと思うと非常に残念で仕方がありません。

しかし、前回前々回と結果が残せずにいたので、こういった結果が出せて非常に嬉しく思っております。

総評:

タイムも目標の53秒台にも入れる事が出来、次回は繰り上げという形では無く実力で表彰台の一番高い場所に上りたいと思います！

素晴らしいマシンを仕上げてくれたメカニック、そしてご支援を頂いている企業様、暑い中応援に駆け付けて頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。

次回も応援の程宜しくお願い致します！！



Hiro Iwakura